

再生医療研究シーズの製品化への道のり

— 柏の葉モデルが目指すもの —



土井 俊彦
国立研究開発法人
国立がん研究センター
東病院病院長

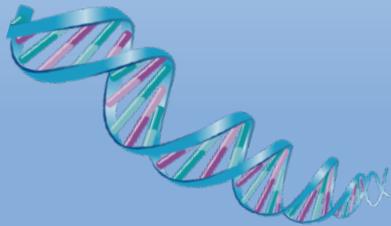
田中 泰至
帝人リジェネット株式
会社
代表取締役社長

柳生 茂希
株式会社A-SEEDS
代表取締役社長

等 泰道
シノビ・セラピューティ
クス株式会社
代表取締役社長

畠 賢一郎
株式会社ジャパン・ティ
シュエンジニアリング
代表取締役 社長執行役員

土原 一哉
国立研究開発法人
国立がん研究センター
先端医療開発センター
センター長



2024年10/10(木)
10:00-11:30

国立がん研究センター、帝人グループ(帝人リジェネット・J-TEC)、三井不動産は、千葉県柏市の「柏の葉スマートシティ」において、新たなライフサイエンスの拠点として「再生医療プラットフォーム」を構築し、再生医療等製品開発における問題解決型の伴走支援を行っています。このプラットフォームの約1年間の活動で、シーズホルダーの方々には見えていなかった、または意識されていない課題を可視化し、さらにその解決に向かってお互いの歯車をかみあわせる、私たちの活動の成果が見えつつあります。

アカデミア・ベンチャー発の研究シーズを具体的な開発品として開発を加速する、または導出する確率を上げるためにはどうすれば良いのか、プラットフォームに関わっていただいた先駆的ベンチャーの方々を交えて議論します。柏の葉では、早期臨床開発の成功と失敗の体験を活かし、出口戦略を意識した課題解決のためのソリューションを提供します。臨床開発・製造などの観点を中心に支援の実例を紹介し、見えてきた課題と展望を提示し、その解決策について多くのプレイヤーと共有したいと思えます。

10/10 セミナー会場

ANNEX HALL F204

アーカイブ配信

10/18(金) 順次配信開始 ~ 12/20(金) 12:00

BioJapan公式サイトより「聴講登録」して視聴可能

「聴講登録」
必須